

節酒の歌
古堅宗雄作

四	中	工七五	工五	四	老	四	合	中	工七五

合	工	合	工	五七	八	五	工	上	四	五七	四

合	四	工	合	中	工	五	合	老	四	合	老	四

四	中	工七五	工五	四	中七五	工五	四	中	工七

五	工	五	四																

一、酒飲むる人ぬ 良し悪しや見ちど、
酒の良し悪ぬ実や知ゆる
サーあんやらやひーあんやんてやー
宮古民謡師範の古堅宗雄、作詞作曲
http://www.geocities.jp/kimurasen1/
の？番に音声あり
酒依存症や嗜好品の依存症に陥る人
には、教訓歌になりました。

二、酒飲まや哀り 肝心狂りて、
世間物笑れぬ 恥ゆ曝ち
サー大事なもんやさ、うぬ酒小や

三、酒に飲まりば わが宿ん忘れて
道ばたに寝んで、露にんでて
サー夜ながた妻子心配ゆしみて

四、酒飲まぬ家庭や くばがしぬかかて
妻子や泣けち、負債(うつか)作て
サーりんち たんち、山散らかちな

五、慎みぬありば 飲む酒ん 美らさ
うりさ物 語い 笑い福い
サーちちしみ第一美ら酒飲みよー